

平成25年度 少年消防クラブ交流会の記録



主催 ● 消防庁

協力 ● 一般財団法人 日本防火・防災協会

● 財団法人 日本消防協会

● 徳島県

● 公益財団法人 徳島県消防協会



● 8月8日 合同訓練にて

少年消防クラブ 交流会の記録

まえがき	1
------	---

1 交流会の概要	2
----------	---

2 参加クラブの記録

● 河南町ファイアジュニア(大阪府河南町)	5
● 比治山学区少年少女消防クラブ(広島県広島市)	7
● 6区少年少女消防クラブ(広島県三次市)	9
● 府中町少年少女消防クラブ(広島県府中町)	11
● 厚南地区少年消防クラブ(山口県宇部市)	13
● うずしお少年少女消防クラブ(徳島県鳴門市)	15
● 伊島少年消防隊(徳島県阿南市)	17
● 土成中学校少年少女消防隊(徳島県阿波市)	19
● 白地小学校少年消防クラブ(徳島県三好市)	21
● 川崎小学校少年消防クラブ(徳島県三好市)	23
● 海陽中学校防災クラブ(徳島県海陽町)	25
● 半田中学校少年少女消防クラブ(徳島県つるぎ町)	27
● 三豊市立河内小学校少年消防クラブ(香川県三豊市)	29
● 赤岡町少年防災クラブ(高知県香南市)	31
● 梶原学園少年消防クラブ(高知県梶原町)	33
● 第東中14区少年消防クラブ(福岡県北九州市)	35
● 下曽根少年消防クラブ(福岡県北九州市)	37
● 伊平屋村少年消防クラブ(沖縄県伊平屋村)	39

3 資料

● スケジュール	41
● 合同訓練概要図	42
● 写真	43



まえがき

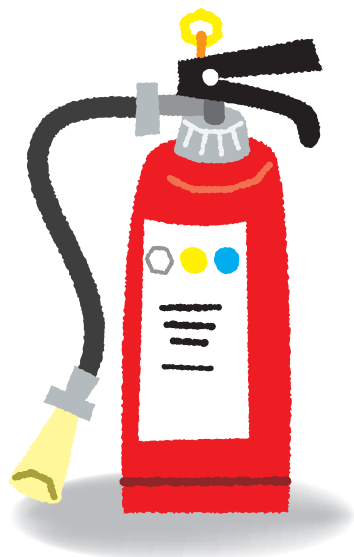
少年消防クラブは、防火・防災思想の普及を図ることを目的として、小学生から高校生までの少年少女で結成されており、平成24年5月1日現在、全国に約5千のクラブ、約42万人のクラブ員、約1万4千人の指導者が活動しています。

少年消防クラブ員は防火や防災についての知識を身近な生活の中に見出すとともに、日ごろから防火・防災に関するさまざまな訓練の実施、講習会等への参加、火災予防ポスターの作成、防火パトロールや防火・防災に関する研究発表会の実施などを通じて、地域における防火・防災思想の普及に努めています。

地震や風水害など多くの自然災害が発生する我が国において、少年消防クラブ員には、家庭や学校あるいは地域で、防火・防災の輪を広げていくリーダーとしての活躍が期待されており、このことを踏まえ消防庁では、少年消防クラブ員が消防の実践的な活動を取り入れた合同訓練等を通じて他の地域の少年消防クラブ員と親交を深めるとともに、消防団等から被災経験、災害への備えなどについて学ぶ「少年消防クラブ交流会」を平成24年から開催しています。昨年の東日本地域の少年消防クラブを対象とした岩手県での開催に引き続き、今年は西日本地域の少年消防クラブを対象に徳島県において開催しました。

今年の交流会には、近畿、中国、四国、九州・沖縄地方のモデル少年消防クラブ等から18クラブ(クラブ員102名、指導者34名、合計136名)の参加がありました。「ヨーロッパ青少年消防オリンピック」の競技種目を参考とした合同訓練や徳島県立防災センターの見学体験、参加クラブによるクラブ活動紹介等に取り組み、他のクラブの活動内容を学んだり、他のクラブ員と親交を深めたりする機会にもなりました。交流会で経験したことがクラブ員のさらなる意識高揚につながり、今後の少年消防クラブ活動において大いに活躍され、地域防災の担い手として成長されることを期待しています。

この記録集は、交流会に参加したクラブ員の感想等をまとめたものです。交流会を通して感じたこと、今後の抱負等について、クラブ員の熱い気持ちが綴られています。ぜひ、ご一読いただき、少年消防クラブ活動の参考としていただければ幸いです。



交流会における各活動行事については、開催地徳島県の消防本部、消防団及び婦人(女性)防火クラブ並びに参加クラブ(クラブ員、指導者、事務担当消防本部・署)のご支援・ご協力により、すべての行程を無事に終えることができました。

結びに、交流会の開催にあたり、多大なるご協力を賜りました一般財団法人日本防火・防災協会、財団法人日本消防協会、徳島県、公益財団法人徳島県消防協会の関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

少年消防クラブ交流会の概要

- 1 日程 ● 平成25年8月7日(水)～9日(金)
- 2 主催 ● 消防庁
- 3 協力 ● 一般財団法人 日本防火・防災協会
 - 財団法人 日本消防協会
 - 徳島県
 - 公益財団法人 徳島県消防協会
- 4 参加クラブ
 - 河南町ファイアジュニア(大阪府河南町)
 - 比治山学区少年少女消防クラブ(広島県広島市)
 - 6区少年少女消防クラブ(広島県三次市)
 - 府中町少年少女消防クラブ(広島県府中町)
 - 厚南地区少年消防クラブ(山口県宇部市)
 - うずしお少年少女消防クラブ(徳島県鳴門市)
 - 伊島少年消防隊(徳島県阿南市)
 - 土成中学校少年少女消防隊(徳島県阿波市)
 - 白地小学校少年消防クラブ(徳島県三好市)
 - 川崎小学校少年消防クラブ(徳島県三好市)
 - 海陽中学校防災クラブ(徳島県海陽町)
 - 半田中学校少年少女消防クラブ(徳島県つるぎ町)
 - 三豊市立河内小学校少年消防クラブ(香川県三豊市)
 - 赤岡町少年防災クラブ(高知県香南市)
 - 梶原学園少年消防クラブ(高知県梶原町)
 - 第東中14区少年消防クラブ(福岡県北九州市)
 - 下曽根少年消防クラブ(福岡県北九州市)
 - 伊平屋村少年消防クラブ(沖縄県伊平屋村)

以上18クラブ



5 活動行事の内容



■ オリエンテーション

■ 参加クラブ活動紹介

夕食後、徳島県危機管理部長にも御出席いただき、参加各クラブによる活動紹介を行いました。



■ 合同訓練

徳島県消防学校のグラウンドをお借りして、ヨーロッパ青少年消防オリンピックの競技種目を参考に、ホースの搬送やロープの結索等を取り入れた訓練をクラブ対抗により行いました。訓練の様子は、徳島県知事、(公財)徳島県消防協会長、徳島県婦人防火クラブ連合会長等、多くの御来賓の方々に観閲いただきました。(合同訓練概要図:P42参照)



第1位

半田中学校少年少女消防クラブ(徳島県)

第2位

土成中学校少年少女消防隊(徳島県)

第3位

府中町少年少女消防クラブ(広島県)

第4位

うずしお少年少女消防クラブ(徳島県)

第5位

厚南地区少年消防クラブ(山口県)



8/8
2日目

■ 徳島県立防災センター視察

地震体験室や暗闇・煙体験室で地震や火災の恐怖を疑似体験しました。

また、さまざまな災害の発生の仕組みについて学習しました。



■ 阿波十郎兵衛屋敷見学

国の重要無形民族文化財に指定されている「阿波人形浄瑠璃」を鑑賞しました。上演後は、実際に人形を動かすこともでき、伝統芸能を間近で学習しました。

■ お国自慢

各クラブの地域紹介を行いました。各地の特色ある紹介に参加者は興味深く聞き入っていました。

8/9
3日目

■ 消防団との交流

徳島県那賀町消防団の方々から平成16年の台風10号等の災害時における活動のお話を伺いました。実体験に基づく緊張感あふれるお話や教訓等についてお聞きし、消防団の活動について理解を深めました。

■ 阿波踊り体験

地元徳島県の阿波踊り連「娯茶平連」の方々に、阿波踊りの実演と踊り方についての御指導をいただき、参加者全員で阿波踊りに挑戦しました。なかなか上手に踊ることはできませんでしたが、全員で楽しく踊りました。

■ 解散式



河南町ファイアジュニア 大阪府河南町



いしだ かのこ
【石田 果乃湖・中学3年】

●この交流会では合同訓練に参加し、夕食時のクラブ紹介、お国自慢など、いろんな思い出がいっぱい出来てとても良かったです。初めて他のクラブ員と顔を合わせた時は緊張しましたが、遠くは沖縄からも参加されていてびっくりしました。今回の経験を生かし、これからも前向きに色々な事に挑戦して行きたいと思います。



OSAKA

●河南町ファイアジュニアは平成23年11月に発足し、中学3年生から小学校4年まで総員38名(平成25年4月現在)です。今回の徳島県で開催される交流会については、参加希望者多数のなか、クラブを代表して中学3年生3名と中学2年生2名の男女5名が参加しました。



うえの よしひろ
【植野 愛大・中学3年】

●入会1年目でこのような交流会に参加することができ、最初は恥ずかしさや戸惑いもありましたが、とても良い経験ができました。合同訓練では入賞することができずにとっても悔しい思いをしましたが、夕食時には他のクラブ員と方言を交えてのお喋りや、最終日には阿波踊りを全員で踊ったりしてとても楽しい思い出になりました。



にしむら あや
【西村 文・中学3年】

●最終日に徳島県那賀町消防団の方々から過去の台風災害のお話と写真を見せて頂いたのが印象に残っています。自分自身が経験したことのない災害が身近に起こった時、どう行動したら良いのか考えさせられました。この徳島での交流会はとても良い経験になりましたし、忘れられない思い出になりました。

まつい ゆうすけ
【松井 優介・中学2年】

●この交流会に参加して色々なことを考えさせられました。特に合同訓練では暑さに負けない体力が必要なことや、普段の練習がいかに大切かということ。いざという時、普段から準備しておかないと何もできないということ、災害に立ち向かうためには、たくさんの人たちと協力し合うことがいかに大切かということ。機会があるならまた参加したいと思います。

にしむら さら
【西村 沙羅・中学2年】

●到着して2日目の合同訓練は、倒れそうなくらい暑い中で始まりました。自分がミスをしてしまい、入賞できなくて少し後悔していますが、この訓練をとおして参加したクラブ員5人の心が一つになれてうれしく思いました。3日間という短い期間でしたが、参加したメンバーとも打ち解けることができ、少しですが他のクラブのメンバーとも交流することができて楽しく貴重な体験ができました。





大冒険の宿泊研修。競技では 比治山 BFC3 名（広島県）と 2 名の徳島県三好市白地 BFC 部員さんと合同チームで参加しました。

沖田 丘翔くん（5年生）の感想

ぼくが徳島研修で良かったと思うことは、リレーなどの競技を無事にやりきれた事と訓練をがんばれた事、友だちができて食事が楽しかったことです。思い出に残ったことは、阿波おどり体験です。むずかしくてうまくおどれなくて、うちわをもらえなかったけど、たのしくおどれたので良かったです。一番、緊張したのは最初の食事の自己紹介です。なぜかという前に出て、一人ずつ自己紹介したからです。緊張したり、がんばったりした徳島研修はとても楽しくていろいろなことを学べたと思います。

大津 青空くん（5年生）の感想

ぼくは、みんなの前でクラブの活動ほうこくや、お国じまんなどを考えて、発表をするのが大変だったけど頑張りました。行ったことがない徳島県に、はじめて列車にのって行ったことが研修のなかで一番ドキドキしました。食事のとき友だちができて大きなお風呂に入ったことはたのしかったです。

國澤 日和くん（4年生）の感想

今回の徳島研修はすごく楽しかったです。一日目の行く時から荷物が大きくて重くて大変だったけど食事のときに前でクラブで発表するときはうまくできたので良かったです。合同訓練は不安だったけど前の日までもくつかえしておぼえたことをがんばれて、やりたかったホースボーリングもうまくいってうれしかったです。いろんな不安はだいじょうぶで三日間もおわってしまったので、またこういう機会があれば参加したいです。帰りに近くの川で休憩したら魚がいたので釣りがしたくなりました。



緊張？（汗；）ドキドキ。気合だあ！
大きな作業服をみにまとい元気に動き回る
☆ちびっこ忍者達なんだかっこいい
ね！



蓮田がつづく徳島の見事な風景。

帰路につく三人の後ろ姿は来たときより
なんだか凜々しい。

広島へ帰る前に
楠大明神で安全
祈願しましたよ



貴重な経験ができ感謝しています。今後の活動の糧となりました。仲良くなって別れを惜しみハイタッチした帰りの電車は胸あつい思い出です。☆比治山 BFC 指導者*國澤☆



代表 三上義和

はじめに、少年消防クラブ交流会を開催していただいた総務省消防庁はじめ関係機関のみなさまに厚く御礼申し上げます。

6区少年少女消防クラブは平成5年に結成され、今年で20年と大きな節目の年に交流会に参加できることを大変光栄に思い参加いたしました。

今回交流会参加において、クラブ員5名は初めて合同訓練の練習をしました。消防団長にお願いし合同訓練で行う競技を練習し「ロープ結束」巻き結び、もやい結び、本結び、ブルージックの練習に時間がかかりましたが、クラブ員全員が練習よりか、交流会の本番でうまくできたと喜んでいました。

初日の夕食後の活動報告では各地の少年消防クラブの活動の話を伺い、それぞれのクラブが地域の特殊性を活かした取り組みをしていることを聞き、大変参考になりました。そして、交流会の最終日に那賀町の消防団の方の災害時・火災時等のスライド入りでの講話を聞き、災害が発生した時の消防団活動の重要性や各救助機関の連携の大切さを改めて痛感いたしました。

今回、交流会に参加して、各地域の少年消防クラブの活動内容や交流会で得た知識を6区少年少女消防クラブの活動に活かしたいと思います。ありがとうございました。



【交流会で学んだこと】 小学6年生 渡川大夢

ぼくは、今回の交流会でいろいろなことを学びました。その中で一番印象に残ったのは、「けむり体験」です。けむり体験では、姿勢を低くしてけむりの少ない下の方を通ることを学びました。実さに入ってみると、入ったらまず焼プリンのようなおいしそうなおいがしました。姿勢を低くしてもそのにおいがまだしました。「けむり体験」が終わって、「おいしそうなおいがした。」など、みんなも同じようにプリンみたいなにおいがしていたと言っていました。

入口の近くにいた女の人があとから、「プリンのにおいがした人は沢山吸いこんだ証」と教えてくれました。

今回の交流会で新しい友達もできたり、とてもいい経験だったと思いました。



HIROSHIMA

【合同訓練】 小学6年生 佐々木大輝

ぼくは、8月8日に合同訓練に参加させてもらいました。5種目リレーでは、最初にホースを伸ばしました。みんなもがんばってやるべきことを果たしました。

しかし、5位以上に入っていなかったです。でも、みんなと協力し、助け合いながらできたのでよかったです。



【徳島に行った】 小学5年生 安西蓮人

ぼくは、消防訓練を初めて体験しました。それも初めて徳島へ行きました。お父さんやお母さんたちも行ったことがないからとっても不安でしたが、新幹線に乗ってワクワクして行きました。新幹線はとっても速かったです。びっくりしました。

2日目にいよいよ合同訓練をしました。とても暑くてバスからおりた時は早く帰りたいと思いました。だけどがんばって障害物競走やリレーをがんばって元気にできました。夜はお国自まんをして、いろんな所からきているんだなあと思いました。

3日目はあわおどりを教えていただきました。楽しかったです。有名なうちわをいただいてとてもうれしかったです。



【交流会に参加して】 小学5年生 久行巧真

今回、交流会に行く前にリレーの練習をしました。本番では、練習したとおりにできたけど、他のクラブを見ると、スピードもあってすごかったです。もっともっと練習しないとイケなかったなと思いました。

食事のときのテーブルがくじ引きで決まったけど、同じテーブルになった他のクラブの人と話せて、仲よくなれうれしかったです。

3日間楽しかったし、勉強にもなって参加できてよかったです。





平成25年度 少年少女クラブ交流会 府中町少年少女消防クラブ



クラブ交流会を終えて（樋口 六年）

8月7日から9日の2泊3日で少年消防クラブ交流会に行きました。

1日目は各地の少年消防クラブが集まり、オリエンテーションやクラブ活動紹介をしました。

2日目は合同訓練、防災センター見学を行いました。合同訓練では土成中学校少年少女消防隊と一緒に競技しました。いいタイムを出すこともでき、3位に入賞しました。3位がとれたのは、チームワークと最後まで誰も諦めなかったからだと思います。

防災センター見学では、地震の体験、煙中体験をしました。そこで勉強したことを活かして、対策などをしたいと思いました。

3日目の消防団の方の話では、ビデオを見て、2人の方が亡くなられたのは残念でしたが、それを教訓とし、僕も対策をとっておこうと思いました。

最後の解散式では、3日間あっという間に感じました。少し疲れたけど達成感があってとてもいい思い出になりました。



徳島県立防災センター（梅次 六年）

防災センターでは、防災ガイダンス、地震体験、煙中体験をしました。

防災ガイダンスでは、災害に対する備えの大切さだと思いました。もし、災害が起きたら、地域の方たちと協力していきたいと思います。

初めての地震体験では、揺れの中で立つことさえも難しく、何もできませんでした。

日頃から、地震の時はどうすべきかを考えようと思いました。

煙中体験では、周りが真っ暗であまり見えませんでした。が、誘導灯の光で進む方向が分かり、とても役に立ちました。

この防災センターでは、災害に対してどのような行動をとれば良いかを学習できました。



いただきまーす



クラブ交流会の合同訓練を終えて（山中 中2）

僕は、今回初めて少年消防クラブ交流会に参加しました。

一番下の学年は小学4年生で上は中学3年生までいて、僕より上の学年の人がいる中、合同訓練では3位に入賞することができました。

これは、僕一人の力ではなく、みんなの力だと思います。そして、今回の競技で消防に関する事をたくさん学びました。

この経験を災害などの緊急時に役立てたいです。

交流会のために暑い中、訓練を手伝ってくれた消防署の方々、そして、保護者の方々に感謝したいです。





平成25年度 少年消防クラブ交流会



厚南地区少年消防クラブ
平成25年8月7日～8月9日



各地区のクラブ活動報告は、とても参考になりました。全国の仲間と交流し、自分たちの頑張りを認められ、励みになりました。私の1番の思い出は、クラブ員代表として、おんぎの前の発表発表をしたことです。みんなの前で発表するのは、とても緊張しましたが、自分の自信にもなりました。この1年間の活動を振り返ると、これから起こるであろう災害に対して正しい知識をもって、おんぎの行動がとれるように取り組んでいきたいです。

厚南地区少年消防クラブ 中2 西村 優美



徳島での3日間、ほんとうに楽しかったです(*^*)
リレーで、おびと5位に入賞できた時は、思わず笑顔がこぼれました。
私たちが入賞できるように練習に協力して下さいました。本当にありがとうございました。

楠田 琉那



私は、交流会に参加して、みんなの事を学びました。
この交流会での一番の思い出は、合同訓練で5位に入賞した事です。ロープの結束など、大きなミスもなくゴールできてよかったです。また、このような交流会に参加できる機会があれば、参加したいです。

中田 千智



私は、小学1年生から、厚南地区の消防クラブに入っています。
今回、交流会に参加することが決まって、近くの消防署でいろいろな訓練を受けました。私は、ロープをむすぶのが難しかったので、家でも練習しました。
リレーで5位入賞ができて、ビックリしました。すごくうれしかったです。
徳島県立防災センターで、地震や火の体験をして、あわてず、冷静に判断することを学びました。
今回の徳島合宿で学んだことを、これからの消防クラブの活動に活かしていきたいです。

厚南地区少年消防クラブ 6年 西村 理子



私は、徳島で沢山の事を学んで、沢山のひとと知り合いました。それに、初めての四国だったので、すごくワクワクでした。2日目のリレーは、消防士のみなさんのおかげで、おびと5位という結果が出せました。とてもうれしかったです。行き帰りに見た電車からの景色は、すごくきれいでした。この3日間で体験したことを、これから活かしていきたいです。

楠田 珠彩



とても良い思い出ができました
ぜひ、山口県に遊びに来てください



うずしお少年少女消防クラブ 徳島県鳴門市



クラブ活動紹介
練習どおり
できました。

● 青木 渉真(小6)

ぼくがこの三日間で一番楽しかったことは、二日目にあった合同訓練です。最初は失敗したらどうしようと思ったけど、練習したとおりにできたのですごく安心しました。

障害物競技では、ホース延長も、ロープ結索も上手にできタイムも良かったです。

結果は四位で目標にしていた入賞ができ、すごくうれしかったです。

入賞できたのは、地元の消防団の方々や消防士の方が教えてくれたからだと思います。本当にありがとうございました。

この経験をいかして、これからの活動に役立てていきたいです。



平成25年度
少年消防クラブ
交流会での感想



● 池内 元太(小6)

ぼくは、二日目にあった合同訓練が一番楽しかったです。

ぼくたちのチームはクラブ対抗リレーの一番目で、ぼくは第一走者です、すごく緊張しました。ぼくは、ホースでボーリングのピンを倒さなければいけないのに一本も倒すことができませんでした。

障害物競技ではロープ結索があり、ぼくは、ブルージックという結び方をしました、きれいにできました。

入賞したい気持ちで頑張って練習しました、みんなで力を合わせた結果、四位に入賞することができました、とてもうれしかったです。

今度またこのような機会があれば参加したいと思います。



TOKUSHIMA

● 上藤 吾蘭(小6)

ぼくは、合同訓練の練習時間が少なかったんで、正直なところ自信がありませんでした。ぼくは、第二走者で水消火器を使い、的を二つ倒して筒先を持って走るところでした。緊張であまり覚えていませんが練習したとおりにできました。順位は四位に入賞することができました、とてもうれしかったです。

午後からは、防災センターで地震の体験や消防車の見学もしました、次の日は、消防団の方のお話を聞くことができ、良い勉強になりました。

これからも少年消防クラブの訓練に進んで参加したいと思います。



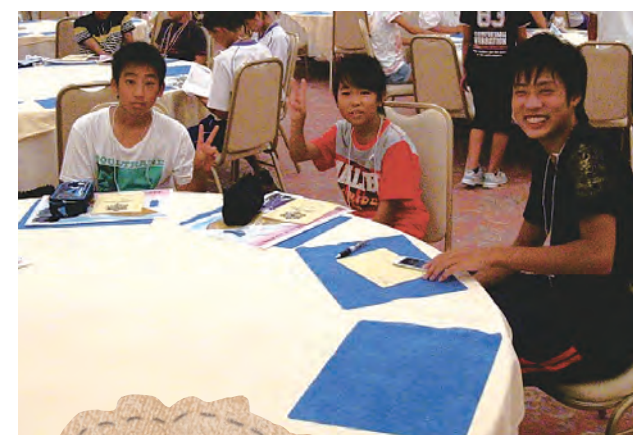
● 工藤 壮汰(小6)

合同訓練では、最初にリレー競技をしました、ぼくは第五走者でホースに筒先をつなぎゴールまで走る役でした、タイムは少し遅かったですが、次の障害物競技では、みんなが練習のとおり上手にでき、見事入賞の四位に入りました。

中学生には負けただけで本当にうれしかったです。

その後も防災センターや阿波十郎兵衛屋敷など、他の県のクラブ員との交流をすることができ、いろんな特産物や観光名所などが分かり楽しい三日間をすごせました。

この経験を今後生かしていきたいです。



他のクラブ員との交流、
最初は緊張して
話できませんでした。

● 橋本 涼平(小6)

ぼくが交流会で一番心に残ったのは合同訓練のリレー競技と、障害物競技

です。リレー競技では、三番目でハードルを飛び越え、くぐる役です。障害物競技では初めにホースを延ばす役でした。

全体で四位に入賞することができたのは、チームワーク良く、みんなが自分の役割を頑張ったからだと思います。

夕食のときは、他のクラブの人と話をしたり、お国自慢を聞いたりとても楽しかったです。

今後、このような機会があれば参加したいです。

三日間ありがとうございました。





伊島少年消防隊(徳島県)



member

団長: 川西 壘(中2)
団員: 栗田 智之(中2)
団員: 斎藤 優花(中2)
団員: 神野 海斗(中1)
団員: 神野 悠(小6)

少年消防クラブ交流会の感想



この交流会はとても楽しくて思い出に残りました。特に、僕が印象に残っていることは、合同訓練で、選手宣誓を行ったことです。あまり練習ができず、少し不安なところもあり、とても緊張しましたが、間違えたりつまったりせずにうまく言うことができ、本当によかったです。(川西 壘)

交流会一日目の午前中に、地元の阿南消防署の方に協力していただき、結索の仕方を丁寧に教えてもらいました。交流会二日目の合同訓練の本番では、素早く結索ができたことがうれしかったです。また、ホテルでは食事や、クラブ紹介などで楽しい時間を過ごしました。なかなか体験することができないことだったので、とても思い出に残りました。(栗田 智之)



僕が、少年消防クラブ交流会に参加して楽しかったことは、ホテルでいろいろなクラブ員の人たちとご飯を食べたことです。たくさんの人たちと、少しだけ話をすることができました。合同訓練の本番では、練習してきたひもの結び方も何とかできたのでよかったです。また機会があれば参加したいと思いました。(神野 海斗)



交流会に参加するにあたり、合同訓練の練習を行いました。が、とても暑い中でやったので大変でした。しかし、地域の消防団の人たちが結索の仕方やホースの伸ばし方など丁寧に優しく教えてくれたので、楽しかったです。

合同訓練の本番では、暑い中一生懸命に取り組み、7位になれたのでよかったです。軽い熱中症になってしまったので、少しだるい部分もありましたが、楽しくできました。

ほかにも、活動紹介やお国自慢、阿波踊り体験など、どの活動もとても楽しかったです。(斎藤 優花)



少年消防クラブ交流会の一日目はすごく緊張しました。でも、二日目にはだいぶ慣れてきました。合同訓練は疲れたけど、ホースを持って走ったり、ひもを結んだりすることがうまくできました。二日目の夜のお国自慢は交流会の中で、一番緊張しましたが、上手にできてうれしかったです。(神野 悠)



伊島少年消防隊

～思い出のアルバム～



合同訓練



ホテルでのひととき



火のよ～～～じん！



今回の交流会への参加にあたり、たくさんの人たちが協力してくださいました。伊島消防団・保護者のみなさま、合同訓練の練習をしてくださった阿南消防署のみなさま、本当にありがとうございました。また、このような貴重な体験をさせていただき、関係者の皆様に感謝を申し上げます。誠にありがとうございました。(指導者 富樫未来)



平成25年度 少年消防クラブ交流会に参加して

写真：左から
森川・瀧川・上藤・荒井・平島・小崎の6名
徳島県板野郡北島町徳島県消防学校にて
撮影日：平成25年8月8日



■ 合同訓練の感想

小崎 公也 ● 障害物競技及びリレー競技において、練習の成果が十分に出せたと思うが、自分が担当したリレー区間においてホース延長が練習の時のようにうまくいかなかったのが少し心残りである。機会があれば、また参加したい。

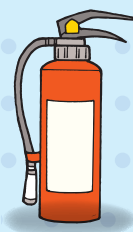
森川 陽貴 ● リレー競技で自分が担当した区間は、障害物(ハードル)をくぐるのが大変だったけど、合同訓練当日は、練習の成果がうまく出せてよかった。また、総合成績が全体で2位という結果には満足している。このような機会があれば、次回も練習して参加したい。

荒井 翔 ● リレー競技においては、みんなが協力してしっかりと走れたと思う。自分は第2区間を担当して消火器もうまく扱えた。この競技にまたチャレンジしたい。

平島 巧資 ● 合同訓練は仲間と共に一生懸命がんばれたと思う。自分が担当した役割(第4区間)を失敗したが、仲間が励ましてくれてうれしかった。

上藤 駿志 ● リレー競技では練習のとおりうまく走ることができた。また、障害物競技では、全員がロープワークをスムーズにできてうれしかった。次回は合同訓練で一位を取りたい。

瀧川 拳右 ● 障害物競技において、指揮者として全員を先導する役割が果たせたと思う。仲間との良い思い出ができて嬉しかった。



■ クラブ活動紹介やお国自慢、阿波踊りの感想

瀧川 拳右 ● お国自慢で土成中学校の校歌を各県の人に聴かせることができて良かった。

森川 陽貴 ● 土成中学校の校歌を歌った後に、参加したみんなが喜んでくれたことが嬉しかった。

荒井 翔 ● 土成中学校の校歌を参加者全員の前で歌えたことが思い出になった。阿波踊りをみんながきちんと踊ろうとしてくれたことが嬉しかった。



平島 巧資 ● 徳島の盆踊りを参加者全員で踊れたことがよかった。また、阿波十郎兵衛屋敷を県外の人に知ってもらえてよかったと思う。

小崎 公也 ● 阿波踊りを踊ったのは、はじめてであった。よい機会を与えてもらった。各県の話で発見することが多くあり、よい体験ができた。

上藤 駿志 ● 沖縄県のチームの発表が心に残っている。ハブ(蛇)の話やサトウキビのお菓子の味が心に残った。

■ 交流会を通じての感想

小崎 公也 ● たくさんの人と交流が持ててよかった。自分の夢(消防士)も見つかった気がした。

平島 巧資 ● 徳島県立防災センターの見学で災害対策への対応や避難グッズの確認もできて良かった。

荒井 翔 ● 小さな小学生も消防活動の練習に参加していたので少し驚いた。自分もこれからしっかりしたい。



瀧川 拳右 ● 他県の人と消防活動を通して、交流が持てたので嬉しかった。

森川 陽貴 ● 一月前に部活動で腕を折って、この交流会に参加できるかどうか不安であったが、うまく治り参加できてよかった。

上藤 駿志 ● はじめは不安であったが、練習だけでなく、食事や交流会を通して他県の人と友達になれてよかった。





少年消防クラブ交流会に 参加して

少年消防クラブ交流会に
白地小学校の6年生が参加させていただきました。
暑いなかでしたが、
子ども達は対抗リレーや障害物競走、
施設見学などをさせていただき、
多くのことを学ぶことができました。



伊藤 綾香

●午後から防災センターに行って、地震体験をしました。震度7の揺れはとてもすごい揺れでした。こんな地震が本当にきたら怖いと思いました。次に煙体験をしました。中の煙はとても甘い臭いがしました。臭いがしたということは煙を吸ってしまったということです。今日の経験を生かして、もし災害が起こったら落ち着いて行動できるようにしたいです。

伊藤 能史

●今回の交流会で特に心に残ったのは、徳島県立防災センターで体験した煙体験です。僕は下を向いて、口を押さえて歩いていきました。臭いがすごかったです。もし火事があったら慌てず行動することが大事だと感じました。あと「消防服が似合うな」と言われたので嬉しかったです。

内山 拓紀

●障害物競走のときに、ロープワークのかみくし練習のように上手くできなかったのでくやしかったです。また練習したいです。



大東 巧幹

●クラブ対抗リレーはボーリングが難しかったです。けどたくさんいい経験ができました。

大西 皐月

●リレーや障害物競走で自分の番がきたとき練習のように頑張ろうと思っていたけど、本番はやっぱり緊張しました。慌ててしまって、かみくしの結び方がなかなか結べませんでした。残念ながら表彰はされなかったけど、他の学校の子とも仲よくなったのでよかったです。

瀧浦 祐樹

●僕達の班は組のなかではリレーも障害物競走も2位でした。みんなとても頑張っていました。防災センターでは、津波の映像を見ました。もしもの時は急いで避難したいです。

辻岡 綾菜

●徳島県立防災センターで震度7の体験をしました。始まるまではすごくドキドキして怖かったけど、揺れてみると意外と冷静でいられました。けど、もし本当に地震が起こったらパニックになってしまうと思うので、この体験を生かして、もしもの時も慌てず冷静にいられるようにしたいです。

檜尾 祐輔

●消防クラブ交流会に向けて、市役所の方々に教えてもらって練習しました。本番はちゃんと自分の役目ができるか心配だったけど、うまくできてよかったです。

藤川 大輔

●交流会で特に印象深かったのは、地震体験です。とても強い揺れだったので怖かったです。この経験を普段の生活に生かしたいです。

本庄 優斗

●消防クラブ交流会で、始めにリレーにでました。少し他のチームから遅れてしまいました。次に障害物競走があって、ホースを持って走りました。機会があればもう一度やってみたいです。

水原 詩音

●障害物競走はうまくできるか不安だったけど、できてよかったです。交流会は暑かったけど、とても楽しかったです。

溝口 鼓和乃

●防災センターで震度7の地震を体験して、とても大きな揺れだったのでびっくりしました。煙の体験では姿勢を低くして出口まで行くということがわかりました。もし、本当に災害などが起きたときに役にたたいです。



森 寛伎

●市役所の方に障害物競争などについて教えてもらって、交流会に向けて練習をしました。けれど当日は障害物競走はロープワークのところで、まき結びに時間がかかってしまったので悔しかったです。



交流会を通しての経験は、子ども達にとって、本当に貴重な経験となりました。





少年消防クラブ交流会に参加して

川崎小学校少年消防クラブ（徳島県三好市）

本校は、徳島県の西部、祖谷川が吉野川に合流した地点に位置し、豊かな自然に囲まれた町にあります。過疎化が進み、小規模校の統廃合、休校が進む中、全校児童6名、PTA戸数5件と、三好市内で最も小規模の学校となりました。
今回、この交流会には5年生2名が参加しました。参加にあたり、白地小学校少年消防クラブから助っ人に来ていただきました。



いただいた活動服とキャップはとてもかっこよくて、まるで消防士になった気分でした。今日一日がんばろうと思いました。



開会式では、たくさんの人やふんい気に少し緊張しました。とにかく暑かったけれど、最後までがんばりました。



クラブ対抗障害物競走では、最後家でも練習した巻き結びを、落ち着いてすることができたので良かったです。



やっとゴールしたら、相手チームはすでに並んでいました。「遅かったー！」と思いました。けれど、自分の持ち場を一生けんめいがんばったので、悔いはないと思いました。



クラブ対抗リレーでは、ほくは第2走者でした。バトンをもらう前に走り出した減点だと聞いていたので、気をつけてスタートしました。練習ではわりと早く標的を倒せたのに、本番ではあせってしまって少し時間がかかってしまったことが残念でした。



クラブ対抗リレーでは、ほくは第3走者でした。できるだけ早く次の第4走者にバトンをわたしたいと思っていました。けれど、ハードルを倒したら減点と聞いていたので、とにかくハードルを倒さないようにとび、くぐろうと必死でした。バトンをわたして、「ああ、これでやっとほくの仕事が終わったあ。」と思いました。



競技が終わった後、飯泉知事と写真を撮ったこともいい思い出です。ほく達は、この少年消防クラブ交流会での活動を通して、次のようなことを学びました。
○あいさつや礼儀の大事さ
○時間を守って行動することの大切さや大変さ
○チームプレイでは、まず自分の役割や責任をしっかりと果たすことが、班で協力することにつながるということ
ほく達は8月8日のみの参加でしたが、貴重な体験ができました。ありがとうございました。また、ほく達のために何度も足を運び、教えてくださった三好市役所の掛野さん、いっしょに競技に出てくれた白地小学校の皆さん、本当にありがとうございました。

三好市立川崎小学校 5年 南 恒輝
梅本 竜次



2年 大畠諒也

僕は、この交流会に参加して、いろいろな人と交流が深められて良かったです。一日目の昼の食事からとても良い食事が出てびっくりしました。とてもおいしかったです。ホテルもよいホテルで過ごしやすいかったです。夕食では隣の席の土成中学校の3年生と仲良くなりました。同じ徳島県民ということもあり、すぐ仲良くなれました。話をしていると土成中学校のすごさがよくわかりました。そのときにあったクラブ紹介では、多くの中学校や消防クラブが発表してくれて取り組みの内容がよくわかりました。僕たちの番が回ってきたときに緊張しすぎて出だしから間違えてしまいました。

二日目の合同訓練ではそれぞれのクラブと競い合いました。ハードルを飛ぶのは問題なかったけれど、くぐるときに頭をぶつけてしまい、倒してしまいました。結果は八位で少し残念でした。

この交流会に参加して、いろいろなことがわかったし、各地域での取り組みのすごさもよくわかりました。このような交流会をまたやっていただきたいです。

2年 百々優志郎

僕は海陽中学校防災クラブとしてこの交流会に参加しました。学校で話があったときに単純におもしろそうだとおもったからです。でも交流会を通して、たくさんのことを学びました。

この交流会では自分たちが防災クラブでやっていることをみんなの前で発表したり、人形浄瑠璃を見たりしました。また、防災センターで煙の中を歩く体験をしたり、地震体験をしたりしました。地震体験では、僕は立っていて冷蔵庫に肩をぶつけてしまいました。合同訓練では、開会式で熱中症気味になったのですが、無事持ちこたえて訓練にも参加できました。結果は八位と入賞には届きませんでしたが楽しめたので良かったです。

今回初めて参加して、八位だったので悔しかったです。次は入賞したいです。



2年 西宮愛美

私は、今回の交流会で学んだことがたくさんありました。特に、西日本各地から集まった人たちとの交流を通し、協力することの大切さを学ぶことができました。やはり、災害が起きてしまったときには、一人で行動するより、二人、三人、とたくさんの人と協力することでたくさんの人の命を守れるんだと感じられました。あとは訓練の重要さもわかりました。

沖縄や広島など各県の人との交流ができたことは、とても自分の中で大きかったと思います。他のクラブの人たちが消防・防災のどのようなところに注目し、それに対してどんな考えを持っているのかがよくわかりました。そして自分たちが今までしてきたことを知ってもらうことができとても良かったと思います。

防災についての意識を高くさせ、知識を増やせる今回の交流会に参加することができてとても良かったと思います。学んだことをこれからの人生に生かし、そしてたくさんの人に伝えることができたらいいなあと思います。私の住んでいる海陽町は地震が起きたらすぐに津波が来ます。そのときには自分が前に出て一人でも多くの命を助けられるように、経験したことを覚えておこうと思います。

TOKUSHIMA



2年 花本 凌

僕はこの交流会を終えて、たくさんの人と交流でき、いろんなことを学べてとてもよい経験となりました。

一日目の食事の時は最初にくじ引きで決めた席に座って食べました。一日目はとても緊張して全然話せませんでした。そのあとのクラブ紹介でも緊張してあまりうまくしゃべれませんでした。でもいろいろなクラブの活動内容などを聞くことができたのでとても良かったです。その後に部屋に戻ってみんなで寝ましたが、なかなか寝付けませんでした。

二日目、朝食を済ませて、いよいよクラブ対抗レースの本番です。まずはじめにリレーにでました。僕は第一走者だったのでとても緊張しました。でも、本番では練習よりうまくいったのでとてもうれしかったです。次に障害物競走をやりました。この最後のロープの結索で、僕はもやい結びを任されていたのですが、手間取ってしまい、大幅なタイムロスをしてしまいました。最終結果は八位でした。僕たちは五位入賞を目指していたので残念でした。その後飯泉知事と海陽町長の五軒家町長と一緒に写真を撮ってもらいました。とてもうれしかったです。

その後徳島県立防災センターで見学やいろいろな体験をさせてもらったり、阿波十郎兵衛屋敷で人形浄瑠璃を見たりしました。とても良い経験になってよかったです。

僕はこの交流会で学んだことを大人になっても生かしていきたいです。そして災害などが起こったら、みんなの役に立てるような人間になりたいです。



2年 山田愛唯

私がこの交流会を通して学んだことは、交流の大切さと知識です。この交流会にはいろんな地域からたくさんの方が来ていたので、人見知りの私はとても不安でした。しかし、食事の時や合同訓練の時に、知らない人と話したり、人の応援をしたりして少しずつ交流を深めていくことができ、不安も少なくなりました。

災害が起きたとき、知らない人が怪我をしていて助けてあげたり、協力することができるようにするためにはこういった交流が大切だと思いました。

震度7の地震を体験して、足で立ってられないことや家具が倒れてくるともわかりました。私の住んでいる海陽町は地震が起きてからわずかな時間で津波が来ることを知ったり、ロープワークや煙の対処法を学んだりしたことで、災害の知識を増やせることができ、今回の交流会は、とてもいい経験になりました。

半田中学校少年少女消防クラブ 徳島県つるぎ町

『半田中学校少年少女消防クラブ』は、災害時に自分で考え、行動できる生徒の育成をめざして、平成22年度から結成されている自主防災組織です。毎年度、2年生がその活動を引き継いでいます。

毎年度、基本的に次のような活動を行います。

年度当初、町役場の危機管理課の方や消防署の予防課の方などを招き、結成式を行います。様々な災害による被害の様子や、物資輸送など緊急支援活動について講話をしてもらい、防災学習の必要性を学びます。

その後、消防署の方の指導で、訓練礼式やロープワーク訓練を行います。整列や礼、移動を素早くきびきびと行い、全員息を合わせることで、防災活動や救助などに必要なチームワークを育てます。

また、消防署の方の指導の下、竹と毛布を使った応急担架をつくり、実際に人を運んだり、消火器による初期消火の方法を学んだりし、消防クラブの一員としての自覚を高めます。

第一回目の表現の場として、防災の日(9月1日)に、半田幼・小・中合同避難訓練の企画・運営を行います。内容は、避難の誘導・救助のデモンストレーション・応急担架の指導・消火器による初期消火の指導などが中心になります。

さらに、実際に消防署に出向いて、たくさんの訓練をします。心臓マッサージやAEDによる救急救命処置・軽可搬ポンプによる放水訓練などを指導してもらいます。

そして、最後の仕上げが、地域自主防災組織との合同避難訓練です。今までやってきたことを披露するとともに、米の炊き出しや非常食の試食、トリアージ、防災学習などを行います。

本年度は、西日本少年消防クラブ交流会が徳島県で開催されると言うことで、3年生10名が参加させていただきました。5名は、クラブ対抗リレー・クラブ対抗障害物競争に出場し、残りの5名は、参加者全員が見守る中、軽可搬ポンプの模範操法を行わせてもらいました。

大変うれしいことに、合同訓練の総合成績では、見事、優勝をすることができました。また、模範操法も自分たちが思っている通りの演技ができ、やり遂げたあとはいい笑顔で、最高の成就感を味わうことができました。

それは、夏休みに一生懸命に練習し、しっかりと訓練した賜物であると同時に、地元の消防署である美馬西部消防組合の署員の方々の、丁寧かつ厳しい指導のおかげであります。努力することの大切さ、チームワークの有意性、感謝することなど、たくさんの自己肯定感を味わうことができたと思います。そして『半田中学校少年少女消防クラブ』の一員であり、活動してきてよかったと感ずることができたと思います。

お世話になりましたたくさんの方々へ感謝します。ありがとうございました。



半田中学校長 横田 智志

TOKUSHIMA

消防クラブ員の感想

田岡 知樹

●僕は、消防の軽可搬ポンプの練習をしてとても勉強になりました。練習ではちょっとむずかしいのもありましたが、だんだん上手にできるようになりました。本番では、大変緊張しましたがうまくできたと思います。とてもいい経験になりました。

井筒 巧

●僕は、軽可搬ポンプの模範演技をしましたが、全国大会という大舞台での演技だったので、緊張したけどうれしかったです。練習を仲間たちとがんばって本番で力を発揮できたことが特にうれしかったです。



中村 翼

●僕は、消防のリレーに出て、本当によかったです。毎日、陸上練習が終わってから消防の練習があったので、しんどかったけど優勝できたときは、みんなと一緒にがんばってきてよかったと思いました。みんなと一つになって何かを成し遂げることは達成感があってよりいっそう友情を深めることができます。だから、これからも友達と助けあっていきたいと思います。

遠藤 凌

●僕たちは、初めて消防のリレーに出ました。人数が多く最初は緊張していて、どうなるのかなーと思っていました。いざ競技が始まると自信が出てきました。そして、優勝できたのでとても嬉しかったです。

小出 悠人

●僕は、消防の大会に出てよかったです。なぜなら、チームプレイの大切さ、友達との絆を感じることができたからです。その結果が優勝につながったと思います。この経験をこれから生かしていきたいです。



村松 瑠威

●僕は、初期消火のデモンストレーションを西日本大会の大舞台ですと聞き、驚きましたが、いざ本番が来ると練習と同じようにできたのでよかったです。それに、いい経験ができたのでよかったです。



橘 侃太

●僕は、初めて消防の大会に出ました。練習していたときは、とてもしんどかったです。しかし、チームメイトとしているうちに、とても楽しくなっていました。消防の人たちも僕たちにつきっきりで練習をしてくださいました。そのおかげで優勝することができました。とても良い経験になりました。後輩たちにもがんばってほしいです。

齊藤 洋人

●僕は、初めて消防のリレーに出ました。たくさんのチームがいて、少し緊張したけど、優勝できたので良かったです。2年生の時から少年少女消防クラブに入って、いろいろな経験が出来ました。今までに学んだことをこれからも生かしていきたいです。

篠原 里樹

●僕は軽可搬ポンプの模範演技を初めてすることができてうれしかったです。指揮者としていろいろ覚えることがあったけど、本番で成功できたときの喜びは最高でした。またこういう機会があるなら体験したいです。



青木 裕貴

●僕は西日本少年消防クラブ交流会で軽可搬ポンプで初期消火の模範演技をすると聞いて、最初は嫌でした。しかし練習をするにつれ、この初期消火で人の命が助かるかもしれないと思い、本当に真剣に取り組みました。この交流会に参加して改めて命の大切さを感じました。

三豊市立河内小学校少年消防クラブ 香川県三豊市



クラブ代表者

豊田真由美 川崎百桃
大谷康晟
熊岡奈実 松浦祐仁

参加したクラブ員の言葉

大谷 康晟(6年)

僕たちは、香川県代表として、JR予讃線と高德線乗り継いで、交流大会の開催される徳島市に向かいました。列車の中では、一日目のクラブ紹介で、クラブ員5名で香川県や三豊市の紹介をどのように行うか相談しながら、不安でいっぱいでしたが、実際には参加者が和気あいあいとしてとても楽しかったです。沖縄県から参加しているチームもあり驚きました。大会二日目の障害物競走とクラブ対抗リレーでは緊張しましたが、練習の成果が出せたと思います。消防のホースが重たく感じました。大きな地震や災害が発生したときには、交流大会で学んだことを絶対に役に立てなくてはいいと考えています。

松浦 祐仁(5年)

僕は、西日本少年消防クラブ交流大会に河内少年消防クラブ代表として参加しました。障害物リレーでは、徳島県の川崎小学校チームと争いました。僕は第1走者で先ず障害を飛び越え、ハードルを跳び、平均台をわたって、ホースをつないでいきました。最後のロープ結びでは、本結びでした。学校での練習で、消防署の方が熱心に教えていただいたり、家でも練習していたのでうまく出来ました。リレーでは僕は第4走者でした。練習どおりホースとホースを連結して、最終走者にバトンを渡すことができましたと思っています。結果は入賞できませんでしたが、中学生チームも出場していた中で、力を発揮できたので、来年も出場できるのなら、優勝目指してがんばりたいです。

▼学校での訓練風景



KAGAWA

合同訓練・競技前▶

川崎 百桃(6年)

私は今回の少年消防クラブ交流大会に参加して、災害のことがよく分かりました。そして、他のクラブが行っている活動についても知ることができたり、中学生クラブの活動紹介もあり、大変勉強になりました。一番印象に残っているのは、2つの競技のことです。障害物競技では、ホースを結合した後に、ロープを決められた結び方で結んでゴールできたときは、正直ほっとしました。次の競技では、第3走者として、ホース先の金具のバトンを受け取り、ハードルを飛び越えて、何とかぐりぬけ、次の走者にバトンを渡しました。目標の5位入賞は果たせませんでしたが、自分に自信がもてたような気がします。また、他の学校やクラブの人と仲良く話が出来たりしてとてもよかったです。学校での少年消防クラブの活動に、今回参加して学んだことを生かしていきたいです。



豊田 真由美(6年)

私にとって8月に2泊3日で参加した徳島市での少年消防クラブ交流大会は、小学生最後の夏休みの一番の思い出です。他県から出場しているクラブチームと汗を流しながら競い合った競技はとても緊張しました。結果発表のときは胸がドキドキしました。入賞したチームと4秒違いだったのはとても残念でしたが、みんなで力を合わせてがんばった記録なのでうれしかったです。競技の後は、徳島県赤岡小学校の人たちとバスに乗り、人形浄瑠璃を初めて見学しました。最後に人形を見学者にも体験で使わせてくれました。私は舞台上上がるのがはるかかったので、希望しませんでした。とてもたくさんのことを勉強できた3日間でした。

▼クラブ活動紹介



熊岡 奈実(5年)

私は8月7日～9日まで少年消防クラブ交流大会に参加して、一番印象に残っているのは徳島県消防学校での「合同訓練」です。「合同訓練」では、ロープの結び方やホースの連結の仕方、消火器の使い方など、たくさんのことを学びました。競技の結果は、全体の第6位という予想以上の記録を出すことができました。これは、消防署の人たちが一生懸命に私たちに教えてくださったおかげだと思います。それから、阿波十郎兵衛屋敷の見学や阿波踊りの体験、消防団の方々との交流があって、学校だけでは学べない体験をすることが出来ました。また、いろいろな県の人と話をすることもできて、お互いの絆を深めることも出来ました。

最後に、交流大会に協力してくださった人にとっても感謝しています。



赤岡町少年防災クラブ 高知県香南市

【少年消防クラブ交流会へ参加して 松下十萌】

●三日間の交流会は楽しかったというより、疲れましたが勉強になりました。特に、二日目の合同訓練は疲れました。けれど、他県のいろいろなクラブの活動ぶりを見ることができ、勉強になりました。私たちは、高知県香南市赤岡町から市バスで徳島県徳島市まで行きました。道中では、どんな研修会なのか不安で一杯でしたが、バスの中ではクラブ員と色々な話をしながら行ったので少しは落ち着くことができました。

一日目は、開会式とクラブ紹介がありました。どのクラブもそれぞれが取り組んでいる内容を発表していました。どのクラブももしもに備えて努力していることが分かりました。二日目の午前中は、猛暑の中、開会式と合同訓練がありました。訓練の内容は、リレー競技と障害物競走で、他県のクラブが出場している障害物競走を見て、チームワークの良さに驚かされました。私の順番になったら頑張ろうと決意し、スタートです。私は、椿原学園のチームと合同のチームだったので少し不安があったけれど、失敗がなく競技ができたので嬉しかったです。誰とでもチームが組めて実践することは大切であり、私自身勉強になりました。午後からは、「南海地震がおこったら」というビデオを見て、とにかく高台へ逃げ、避難解除になるまでは絶対に下りてはいけないことをあらためて学びました。三日目は、消防団員さんの体験のお話で、土砂災害について学ぶことができました。三日間通して学んだことをこれからの防災学習や訓練に活かしていきたいと思います。



【少年消防クラブ交流会の感想 佐伯奈津実】

●私が少年消防クラブで学んだことは、三日目の消防団員さんとの交流の時に聞いたお話で、土石流についてでした。土石流で家が壊れたり、橋が流されたりしたときのお話でした。その時は、急いで仮設の橋を架けたり、ヘリコプターで救助活動をしたそうです。それで、避難をしている人たちは公民館などで寝泊まり



をし、家が流された人たちは、仮設の住宅を建てて、そこで二年間生活したということが分かりました。普段聞けない話を聞くことができて良かったです。

【徳島での防災学習 澤田悠維】

●ぼくは、防災学習で徳島に行きました。赤岡町で火の用心や防災訓練をしているクラブ員の代表として参加しました。参加したのはクラブ員と消防署の人二人と、消防団長一人、校長先生の十四人で参加しました。参加に向けて、夏休みに練習をしました。猛暑で大変でしたが、みんな頑張って訓練をしました。本番のリレー競技では、相手が中学生で



ましたがみんな一生懸命取り組んでいました。障害物競走も全力でしました。順位はよくなかったけれどみんなが一生懸命したことがよかったと思います。

【徳島の防災訓練 吉田美月】

●私が一番心に残ったのは、合同訓練の時です。どの競技も各クラブのスピードが、想像以上に早く、それを見たとき私たちの訓練よりもたくさん訓練をしていることが分かりました。だから校長



先生がもう一度チャンスをもたらるのなら、しっかり練習をして参加したいと思いました。是非参加したいです。

【消防の研修をして 今西碧】

●私は、徳島での研修会に参加していろいろなことがわかりました。最初に、消防学校での体験学習で、実際に煙がある部屋から避難する場合の避難の仕方が分かりました。また、徳島の消防団の方々が経験された水害被害の話から、水や土石流のおそろしさを学びました。



KOUCHI

●高知県香南市赤岡町の『赤岡町少年防災クラブ』は、現在121名で赤岡小学校全校児童がクラブ員です。今回の交流会には、クラブ員10名、指導者4名が参加しました。三日間の研修は当クラブにとって本当に勉強になった交流研修会でした。ありがとうございました。



【合同訓練 寺岡真帆】

●私は、高知県の椿原学園の人たちと一緒に訓練をしました。みんなのチームワークでうまくいったのでよかったと思います。同じ赤岡のメンバーではなかったけれど、練習の成果がはっき

できたので嬉しかったです。この大会で一位になったチームはすごかったです。私は思わず「一位になったなあ!」と言ってしまいました、来年もぜひ参加して一位から五位までに入りたいと思います。



【少年消防クラブの研修会感想 岡村唯】

●8月7日～9日に徳島で行われた少年消防クラブ交流会に参加しました。私は、2日目が一番心に残りました。朝から気温が上が



り猛暑の中、合同訓練でスタートしました。熱中症対策として待機場所にはテントが建てられており、また、たくさんの飲み物があり、自由に飲むことができました。合同訓練では、障害物競走とリレー競技に出場しました。障害物競走では、ひもを結ぶのが難しく、タイムロスしましたが、頑張ってすることができました。この研修で多くのことを学びました。また、参加したいです。

【研修会へ参加して 山田日向】

●ぼくは、少年消防クラブ交流会へ参加して、二日目の合同訓練が印象に残っています。特に、今まであまり考えたこともなかったひもの結び方で、何種類もある結び方を一生懸命練習しました。その成果があり、障害物競走で間違えずに結ぶことができました。リレー競技もみんなと力を合わせて頑張りました。夜の交流会では、他県のお国自慢が聞けて楽しかったです。



【消防の合宿 濱崎優人】

●消防の合宿(研修)に行って、いろいろなことを学びました。二日目の合同訓練でのリレー競走と障害物競走でのホースのつなぎ方やロープの結び方など本当にいい勉強になりました。また、ホースを持ったまま走る競技では、ホースが重く走るのが大変でしたが頑張りました。

実際に使うときは、もっと重たいホースだと思うので大変だと思います。日ごろの訓練が大切だと思いました。



【交流会へ参加して 松下総龍】

●ぼくは、徳島で行われた少年消防クラブの訓練に参加しました。その訓練は、実際にホースとかを使う訓練で難しかったです。学校で、夏休みに練習をしましたが、なかなか思うようにできませんでしたが、何とか覚えることができました。徳島では、練習をしたことができたので嬉しかったです。

夜は、県外のクラブ員の人たちと一緒に食事をしたり、交流をしたりしました。

二泊三日の交流研修会はあっという間に終わりました。ぼくは、とてもいい機会を与えてもらったと思っています。来年もぜひ参加したいです。



梶原学園少年消防クラブ 高知県梶原町

少年消防クラブ交流会を終えて

(西日本地区 IN 徳島) 平成25年8月7日～9日

この写真は、
今年の夏に行われた
消防団の演習の場で
軽可搬ポンプ操法を
披露した時の写真です。



平成25年度 少年消防クラブ軽可搬ポンプ操法披露

『徳島大会に出場して』 六年・氏原 弘人

ぼくたち梶原少年消防クラブは、八月に徳島で開かれた大会に出場しました。
まず始めに、梶原学園と赤岡町の少年消防クラブと一緒にホースでボーリングのピンを倒したり、消火器を使って火のまきに当てたり、ホースに筒先を結合して走る競技をしました。チームが一つとなり、一人ひとりのまかされた競技を一生懸命頑張りました。練習の成果が出てよかったです。



学校での練習では、はじめは上手にできなくて悔しい思いもしましたが、練習を頑張ってきたことで、本番で自分たちの積上げてきたことが出せたので“やってよかった”と思いました。次は、東京で開かれる消防団120年・自治体制度65周年記念大会に向けて、これまでよりもさらにいいチームになるように練習をもっと頑張りたいと思います。
その成果を皆にも見てもらいたいです。



KOUCHI

●梶原学園少年消防クラブは、学園の生徒全員が少年消防クラブ員として登録されていますが、その中から3年生3人、4年生2人、6年生2人の7名の代表者が軽可搬ポンプ操法等の訓練を行っています。今回は代表者7名の中から、6年生2名、4年生1名の計3名が交流会に参加しました。



『徳島大会に参加して』 六年・西村 友宏

ぼくたち梶原少年消防クラブは、徳島で開催された大会に出場しました。

会場には少年消防クラブに入っている人たちが大勢集まり、これまでの練習の成果を出し合いました。

会場に着いたとき、ぼくは心の中で“よし！がんばるぞ”と思いました。競技では全員が普段通りのきびきびした動きでホースを転がしてピンを倒したり、全力で走りぬいたりしました。

競技終了後、貴重な体験をしました。それは、煙が溜まっている部屋に入り、火事の疑似体験をしたことです。ぼくは、煙は上に上がっていく性質があることや、煙の中では姿勢を低くしなければならない事が大切だと分かりました。

自分の身が危険な時でも消火活動をしている消防士さんは凄いと思いました。

これからも、今回学んだことを活かして練習に取り組み、次の東京大会で全力で頑張りたいと思いました。



『徳島大会に参加して』 四年・川上 麻衣



私は、梶原少年消防クラブで女子一人ですが、男の子と一緒に頑張っています。

徳島大会に参加して、私たちと同じ活動をしているたくさんのクラブ員さんがいるんだなと思いました。

ホテルでは全員がホールに集合して夕食をしました。少し恥ずかしかったです。

二日目の大会では、一番員としてホースを伸ばしてボーリングピンを倒す競技でしたが、練習の時にはうまく伸ばせたのに、本番ではボーリングピンを倒すことが出来ず悔しかったです。

でも、赤岡小学校のクラブ員の人たちと一緒に競技に参加できて楽しかったです。



消防学校の横にある防災センターを見学して、地震の体験とか煙の体験ができて、本当の火事や地震が起きたら怖いと感じました。その後は「阿波十郎兵衛屋敷」で人形浄瑠璃を観て、人形が本当の人のように見えて“動かしている人は凄いな”と思いました。

三日目は、消防団の人たちの台風のときに経験した話と、阿波踊りを体験しました。大雨が降ると家が流されたり、行方不明の人が出たり消防団の人たちは皆を守るために頑張っていることが分かりました。

阿波踊りは凄く楽しくて、手と足を動かすのは難しかったです。またこのような大会があれば参加してみたいです。

第東中14区少年消防クラブ 福岡県北九州市

西日本交流会参加報告

第東中14区自治会会長 ● 長井 忠夫

晴天に恵まれ36度の気温の中、第東中14区少年消防クラブ団員3名、指導者2名は、朝の新幹線で徳島会場に向かって出発しました。

「初日夕食、クラブ活動紹介」では交流を目的にくじ引きで、クラブ員は別々のテーブルに着き、夕食後はクラブ活動紹介で、我がクラブ員も吉田正彦指導者の指揮で、宮原和美、三原蒼生、末永竜也隊員が元気よく報告を行いました。

2日目「合同訓練」6:45分に朝食を取り、与えられた活動服に着替え、バスで訓練会場の徳島県立消防学校到着。合同訓練及び開会式の

後訓練開始。(暑さで他の隊員が気分を悪くし数名運ばれる)参加クラブ対抗の競技による合同訓練実施、競技は5人1組ですが、他の団体から2人応援をもらい開始となった。私はこの種目は初めて見るのですが、宮原、末長、三原、応援の2人の働きにびっくりです。まるで別人のように投げ、走り、つなぎ、結びといった動作に驚き、つい頑張れーと大声を出していました。3日間を通じて感じたことは、他の少年消防クラブの日頃の活動に目を見張るものがあると感じました。最後に、交流会参加にあたり、いろいろとご心配頂きました若松消防署、そして今回の交流会を企画して頂いた消防庁並びに日本消防協会殿にこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。



交流会に参加して

シニア隊員 中学3年 ● 宮原 和美

交流会に参加するまでの事前練習の時、最初はみんななななくてリレーとか全然つながらなかったけど、練習を重ねていくたびにうまくつながるようになり、交流会本番ではみんなテキパキと行動ができ自分たちの出来る限りの事を出しきれたと思います。交流会に参加することによって、みんなと今まで以上に仲良



くなることができて良かったと思います。3日間いろいろな方にお世話になり、たくさんの経験をすることができました。ありがとうございました。

参加できた事が喜びでした

副隊長 小学6年生 ● 末永 竜也

今度の研修交流会に参加出来たことは、僕にとって最高の喜びであり、一つひとつの行動に大きな自信が出てきました。事前練習は5回あって、全部参加しました。猛暑の中の練習はとってもきつかったけど、すばやく行動できるようになったことと、リレーのタイマーが



ちんだことがうれしかったです。競技大会では、他の消防クラブの皆はとっても早くてびっくりしました。でもほかの皆と一緒に競技できたことが一番良かったです。消防署の方や自治会の皆様ありがとうございました。

FUKUOKA



西日本交流会に参加して

リーダー ● 吉田 正彦

今回北九州市若松区第東中14区少年消防クラブから、隊員3人、自治会長1人、リーダーの計5人で参加しました。

始めて体験する県外宿泊訓練に、子ども達は何日も前から心はずませ楽しみにしていました。いよいよ出発です。

JR小倉駅から新幹線を乗り継ぎ、瀬戸大橋を渡って徳島駅に到着した。町はどちらを見ても「阿波おどり」一色と言った感じです。



競技大会は猛暑の中、活動服に身をつつみきりとした隊列で開会式が始まりました。競技では他消防クラブ隊員から2名の応援を頂き、なんとか中間順位に入ることが出来、ありがとうございました。今回交流会に参加できた子ども達も一段と大きくなった感じがします。今回この機会を与えて下さいました日本消防協会をはじめ多くの関係者の皆様にお礼申し上げます。今後も次回の交流会を期待して、今回参加できなかった隊員とともに若松消防署隊員の指導を受け頑張ります。



交流会に参加できて最高です

隊長 小学6年 ● 三原 葵生

私の一番の思い出は、事前練習で若松消防署の方に教えてもらい、一生懸命に練習したことです。練習のたびに上達した事とっても嬉しかったです。障害物競走の練習の時に、何回も練習しているとタイムが良くなりました。リレーではホースがまっすぐにいくようになってとってもうれしかったです。

交流会では、消防クラブ活動に環境美化運動や防災マップ作りを取り入れているところ等の話が聞けて参考になりました。

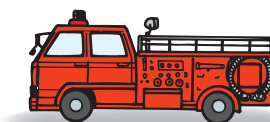
徳島県立防災センターで、色々な体験が出来たことも思い出です。交流会に私たちが参加できたのは、若松消防署や自治会、それに育成部の皆さんのおかげです。ありがとうございました。



娘がお世話になりました

隊長の母 ● 三原 実敏

2泊3日大変お世話になりました。ひと回り大きくなって無事に帰ってくれてありがとう。お世話になった関係者の皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。これからも隊長として、また小学6年生としての自覚を持ち行動して欲しいと願っています。若松消防署の方々、長井会長、吉田リーダー、育成部の皆さんありがとうございました。





下曽根少年消防クラブ



参加クラブ員 永湊 凌太 谷本 優斗 芦村 龍之介
坂田 航太郎 寺原 由礎

永湊 凌太



僕は、この夏に徳島での少年消防クラブ交流会に参加しました。いつも夏休みは、研修や訓練をしていましたが、今年はいろいろな消防クラブのみんなと交流することができました。僕のクラブは、小学生だけなので他のクラブには中学生もたくさんいたのでびっくりしました。合同訓練は、ちょっとくやしかったので、もっと訓練をして速くなりたいです。たくさんの人と交流ができて本当に楽しかったです。



谷本 優斗



まず、電車で5時間ぐらい乗って、徳島県まで行きました。ホテルに着いて、みんなでお風呂に入って、ご飯を食べて過ごしたのが楽しかったです。

次の日は、消防学校に行って合同訓練をしました。相手は中学生ばかりだけど、何組かには勝ててうれしかったです。

最後の日は、阿波踊りをしました。阿波踊りは、難しかったけど楽しかったです。

坂田 航太郎



この少年消防クラブ交流会で友だちを増やせました。食事のときは、はじめ全然知らない人と食べたので、食べにくかったけど、少し話しかけたらすぐに友だちになりました。

合同訓練では、僕は何も持たずに先にいくので速くいけました。リレーでは、アンカーなので本気で走りました。阿波踊り体験では、自分はなかなかうまくいかなかったけど、プロの人はうまいなと思いました。

この少年消防クラブ交流会は、いろいろな人と交流ができて、とてもいい思い出になりました。



芦村 龍之介



みんなで電車で徳島県まで行きました。約5時間30分も電車の中だったので、人が多い電車は、とても暑かったです。ホテルまで行くのは、きつかったです。

合同訓練やいろいろな事をするにつれて、たくさんの友達ができました。ふだん体験できないような煙や地震の体験ができたのはとても良かったです。

阿波踊りは、見た目は簡単そうだったけど、実際に踊ってみると難しかったです。

2泊3日の交流会でいろんな事ができて、思い出がいっぱいできました。また、このような交流会があれば参加したいです。僕も大きくなったら、人の役に立てる仕事をしたいです。

寺原 由礎



交流会に参加して最初におどろいたのは名簿を見たときでした。4年生が僕を入れて3人だけだったからです。徳島県に行ったのも、大きなホテルに泊まるのも初めてでした。

2日目の消防学校での合同訓練では、中学生や6年生が多かったけど、一番最後にならなくて良かったです。防災センターでは、地震や煙の体験もしましたが、風雨もやってみたかったです。阿波十郎兵衛屋敷の人形が少しこわかったです。阿波踊りの体験もできて良かったです。

初めてのことがたくさんあったけど、楽しかったです。また行きたいです。





伊平屋村少年消防クラブ

少年消防大会 IN 徳島

リーダー 伊礼 栞乃



私は今回の交流会で、他県クラブとの交流だけでなく、防災センターの見学や合同訓練などの様々な体験を通して、たくさんのことを学ぶことができたし、地域防災への意識、関心が高まりました。今回学んだことを活かして少しでも地域に貢献できるように、今後の活動も頑張っていきたいです。

新城 杏樹



今回の交流会で、たくさんの事を体験し、たくさん学びました。他県の消防活動も私たちと違うこともあり、勉強になりました。初めての消防大会で緊張もしたし、いい体験ができました！今回の体験を絶対忘れず、これからに活かせるようにしていきたいです。そして、今回関わった方々への感謝も忘れず自分の自信につなげていきます。



仲里 友汰



交流会の思い出は、みんなといろいろな所に行けたり、大会に出たりしたことです。入賞には選ばれなかったけど、最後まで頑張ることができたので、良かったです。

山城 啓太



この交流会で、僕は様々な体験を通して、たくさんの事を学ぶことができました。防災の大切さも知ることができ、この交流会で経験したことを、今度は伊平屋でも活かせるようがんばりたいです。



宮城 郁人



交流会に参加して、とても勉強になりました。なぜなら合同訓練で失敗してしまい、負けてくやしい思いをしたからです。この交流会を通して、基本の大切さを改めて考えました。少年消防団の訓練は一回、一回の積み重ねが大事なので、これから頑張っていきたいです。

参加日程:平成25年8月6日～10日

●平成25年度 少年消防クラブ交流会スケジュール



時 間	内 容
15:00～16:00	参加クラブ受付(ホテルサンシャイン徳島)
16:00～16:50	オリエンテーション
17:00～17:50	入浴
18:00～20:00	夕食、クラブ活動紹介
21:00	就寝



ホテルサンシャイン徳島(徳島市南出来島2-7-1)



	起床
06:45～07:30	朝食
07:45～08:30	宿泊施設 発 ⇒ 徳島県消防学校 着
08:30～09:30	合同訓練概要説明
09:30～11:30	合同訓練
11:30～12:20	昼食
12:30～13:30	徳島島県立防災センター見学体験
13:30～13:50	徳島島県立防災センター 発 ⇒ 阿波十郎兵衛屋敷
14:00～15:00	阿波十郎兵衛屋敷見学
15:00～16:50	阿波十郎兵衛屋敷 発 ⇒ あるでよ徳島 ⇒ 宿泊施設 着
17:00～17:50	入浴
18:00～20:00	夕食、お国自慢
21:00	就寝

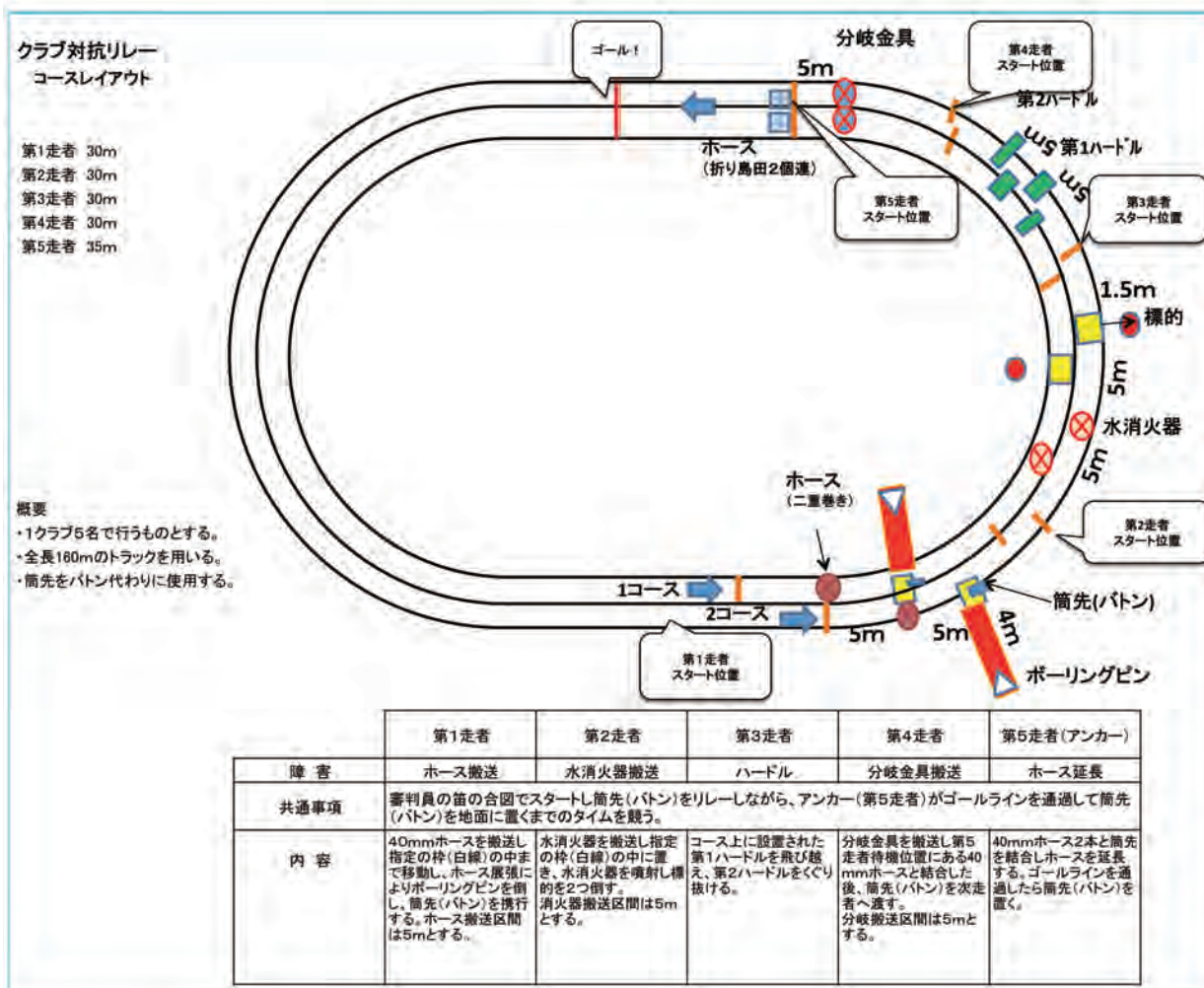
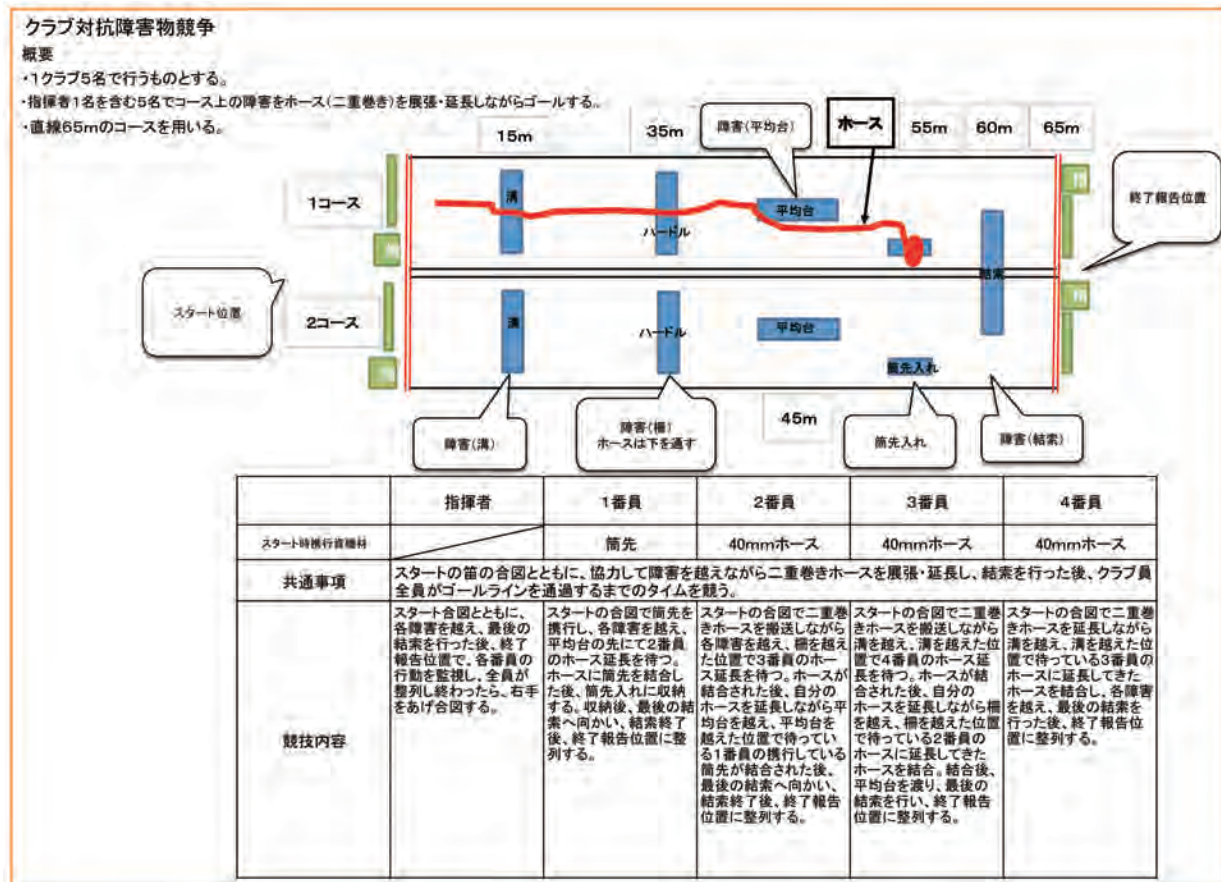


ホテルサンシャイン徳島(徳島市南出来島2-7-1)



	起床
07:00～08:00	朝食
09:00～10:45	消防団の方との交流、阿波踊り体験
10:50～11:00	解散式
11:00	解散

● 合同訓練概要図



少年消防クラブ交流会

写真集

8/7
1日目

オリエンテーション
クラブ活動紹介





8/8
2日
合同訓練



8/8
2日目

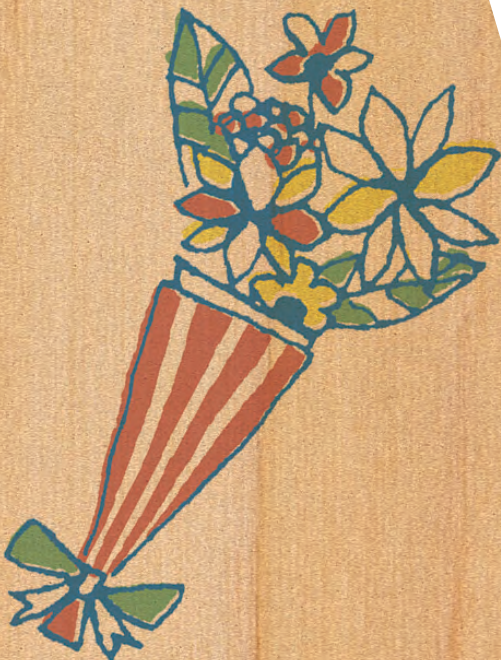
徳島県立防災センター
見学・体験





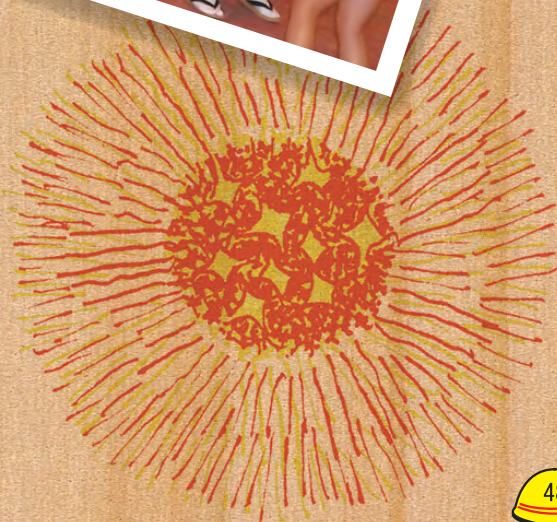
8/9
3日目

消防団の方との交流



8/9
3日目

阿波踊り体験



平成25年度 少年消防クラブ交流会の記録

■平成25年9月発行

■編集・発行：消防庁国民保護・防災部防災課

〒100-8927 東京都千代田区霞が関2-1-2 ●TEL.(03) 5253-7525 ●FAX.(03) 5253-7535